

オーストラリアの“教師の専門性の全国基準”の翻訳

山 田 真 紀*

Japanese Translation of “National Professional Standards for Teachers” in Australia

Maki YAMADA

はじめに

世界の多くの国々において、教師の専門性の中身を明示化し、教員養成および教師の現職教育に役立てていこうとする流れがある。先行研究によると、アメリカ・カナダ・イギリスなどで「教職スタンダード」が定められている¹⁾。オーストラリアでは、これまで各州や直轄区が独自に制定していた教職スタンダードを、2010年12月に全国統一基準として再編成し、教員養成および教師のキャリア形成に生かしていく試みが始まっている。この「教職スタンダード」は、教職の専門性とは何かを明示化するものであり、各国における教師の専門性の中身の同一性と差異を明らかにする分析においても、日本がこれから教師の専門性を具体的に描写する際の資料としても、貴重な情報源となる。そこで、本稿では、オーストラリアの「教師の専門性の国家基準」を、できるだけ原文に忠実に訳出し、教職スタンダードを研究する研究者と、わたくし自身の今後の研究のための、基礎資料を提供することとしたい。以下は、オーストラリアの「教師の専門性の国家基準」の翻訳である²⁾。

1. 序 文

(1) 教師の重要な役割

若者が成功に満ちた生産的な人生を送るための準備をすることに、教師たちはともに重要な責任を持つ。「教職の国家基準」は、教師の有効性が生徒に大きな影響を与えるという、国内外の証拠に基づき、また、教師の質は、生徒の学業達成に影響を与える、唯一もっとも重要な学校内要因であるという広く受け入れられた考えをとめない、作られた。有能な教師はインスピレーションの源になりえ、同時に重要なことに、若者が将来の教育、仕事、人生に関する選択をするときに、頼りになる、一貫した影響を若者に及ぼすことができる。

* 教育学部 子ども発達学科

「教師の質の向上に関する国家的パートナーシップ」「若いオーストラリア人の教育目標についてのメルボルン宣言」に述べられているように、教師の質の向上は、生徒の学業達成を向上させ、オーストラリアが世界クラスの教育システムをもつことを保証するため、オーストラリアの努力のなかでも、本質的な改革だとみなされている。オーストラリアの学校のもっとも大きいリソースはわれわれの教師なのである。教師は学校教育のもっとも大きな支出を占めるのであり、他のいかなる教育プログラムや政策の影響よりも、はるかに大きな重みをもって、生徒の学習に最大の影響をもつ。

国際的にも国内でも、教育制度は、教師の質を引き出し、高め、認識させ、維持するために、教師の専門性の基準を発展させてきた。「まったく異なった構造と文脈にあっても、高い成果をあげる学校システムは、教授の向上に強い焦点をあてている。なぜならそれが直接的に生徒の学業成績に影響を与えるからだ。」

(2) 教師の専門性の基準

専門的な学習、実践、関与を導きうる、教師の専門性の基準を定めることは、教師の質の向上に役立ち、この職業の社会的威信を高めることに貢献をする。質の高い教授の鍵となる要素は、基準のなかに描かれている。基準は4つのキャリア段階、すなわち「新卒 Graduate」「熟練 proficient」「高度完成 Highly Accomplished」「リーダー Lead」において、教師が知っているべきこと、できるべきことを教えてくれる。

基準と基準に記述された内容は、オーストラリア中の教師の、効果的で現代的な実践の分析がもととなっている。それは、教師の認定登録機関、雇用者、専門的協会によって用いられてきた、教師の知識、実践、専門的関与の記述を統合するかたちで進められてきた。それぞれの基準の記述は、教師のキャリアのそれぞれの段階において、何が必要になるかの教師の理解が反映されたものになっている。約6千人の教師を含む広範囲の認定プロセスは、それぞれの基準の記述が、この職業に就く人々によって形作られたことを保証している。

基準はメルボルン宣言を支持するのであり、そこには次世代を担うすべての若いオーストラリア人に望まれることが描かれている。これはオーストラリアの教育大臣に、特別の教育的目標にコミットを求めるものである。すなわち、オーストラリアの学校教育が平等性と優秀性を高め、すべての若いオーストラリア人が成功した学習者となり、自信に満ちた創造的な個人となり、活動的でよく物事を知っている市民となるという目標である。すべてのオーストラリアの政府、大学、学校部門、個々の学校は、教師養成教育の質を高めることも含めて、高品質の教授と学校のリーダーシップを支援するために、ともに働く責任をもつ。

(3) 基準の目的

「教師の専門性の国家基準」は、教師の質が何から構成されているかの公式的な記述である。それらは、教師の仕事を定義し、生徒の教育成果を高めるであろう、21世紀の学校の高品質の効果的な教授の要素とは何かを明確にするものである。基準は、教師のキャリアを通して必要とされる知識、実践、専門的関与が何であるかを明確にするフレームワークを提供することで、これをなす。基準は、教師、教師養成者、教師の組織、専門的

協会、一般の人々との会話において、共通理解と共通言語を提供する。教師の基準はまた、専門的学習の目標を発展させる情報をくれ、教師が自分の学習の成功を判断し、自省と自己評価の助けとなるフレームワークも提供する。教師は自分の現在の、そして発展しつつある能力、専門的向上心と達成を認識するために基準を用いることができる。

基準は教師の専門職性に対しても貢献し、この職業のステータスを上げる。教師が専門的知識、専門的実践、専門的関与の適切なレベルを持つことを示しうることを保証することで、基準は職業的なアカウントビリティモデルの基礎としても用いられうる。

教師の専門的国家基準は、4つのキャリア段階から構成され、教師の準備、支援、成長を導く。このステージは、学部生としての準備から、模範的な教室での実践家、そして職業におけるリーダーにいたるまでの、教師の専門的な技術の向上の流れを反映している。

「新卒」の基準は、最初の教師教育プログラムの認定を支えるものである。認定されたプログラムからの卒業は、それぞれの州や領土における登録を保証する。

「熟練」の基準は、教師としての完全なる登録や認定のためのプロセスを支えるもので、国家的に統一した教師の登録の必要性を支持する。

「高度完成」と「リーダー」のキャリア段階における基準は、自発的な証明書の基礎となる。

2. 教師の専門性の国家基準の構成

教師の専門性の国家基準は、教師が知っているべきこと、できるべきことのアウトラインを示す7つの基準で構成される。基準は相互に関連し、相互補完的で、重なり合っている。

基準は「専門的知識」「専門的実践」「専門的関与」の3つの教授の側面にグループ化される。実際には、教授はすべて3つの領域の観点から描かれる。

それぞれの基準のなかで、焦点領域が、教授の知識、実践、専門的関与のさらなる描写を提供する。これらは、4つの専門的キャリア段階、「新卒」「熟練」「高度完成」「リーダー」における基準の記述に分かれている。

《教授の領域》《基準》

- | | |
|-------|------------------------------|
| 専門的知識 | 1. 生徒を知り、生徒がいかに学ぶかを知る |
| | 2. 内容を知り、それをいかに教えるかを知る |
| 専門的実践 | 3. 効果的な教授と学習を計画し実施する |
| | 4. 支援的で安全な学習環境を作り、維持する |
| | 5. 生徒の学習を評価し、フィードバックを与え、報告する |
| 専門的関与 | 6. 専門的学習へ関与する |
| | 7. 同僚、保護者、コミュニティに専門職として関わる |

(1) 教授の側面

①専門的知識

教師は、教育の文脈で、生徒のニーズに応ずるために専門的な知識と調査の体系を用いる。

教師は、生徒の言語的、文化的、宗教的バックグラウンドの多様性を含めて、生徒のことをよく知っている。生徒が教室に持ち込む経験が、彼らの一連の学習にどのような影響を及ぼすかを知っている。教師は、生徒の身体的、社会的、知的な発達と特徴に合うように、いかに授業を組み立てればよいかを知っている。

教師は、教科とカリキュラムの内容を知っている。教師は、自分が教えるプログラムに関連した基礎的な概念、構造、探究プロセスについて知り、理解している。教師は、学習と教授のプログラムにおいて、何が効果的で、発達的に適切な戦略を構成しているのかを理解しており、生徒にとって内容を意味深いものするためにこの知識を用いる。

教授実践を通して、教師は教科領域のなかで生徒の読み書きや算数の力を向上させる。教師は、生徒の学習の質と幅を広げ、具体的文脈におくために、情報伝達技術（ICT）を用いることもできる。

②専門的実践

教師は学習を関与に値する、価値あるものにすることができる。教師は、安全で統合的で挑戦的な学習環境を作り、維持することができ、公平で公正な態度形成のための計画を実施することができる。教師は、洗練されたコミュニケーション技術を用いる。

教師は効果的な教授戦略のレパートリーをもち、よく計画された教授プログラムと授業を行ううえでそれを用いる。教師は、生徒の学習ニーズにあっているかを確認するために、定期的に、自分の教授実践のあらゆる側面を評価する。教師は、学習の障壁になっているものを診断し、生徒に成績を上げる挑戦をさせるために、生徒の成績評価データを翻訳し、用いる。

教師は、学習と成績評価の計画、学習プログラムの発展、教授、評価、生徒の学習についてのフィードバックの提供、保護者への報告を含んだ、教授と学習サイクルのすべてのステージにおいて、効果的にそれらを遂行することができる。

③専門的関与

教師は効果的な学習を作り上げる。教師は、自分自身の学習ニーズを特定し、同僚とともに、もしくは個人として、専門的学習を分析し、評価し、広げていく。

教師は、生徒、同僚、保護者、コミュニティとの関係のすべてにおいて、相手を敬い、専門職として関わる。保護者のニーズに敏感であり、子どもの学習に関して保護者と効果的にコミュニケーションすることができる。

教師は、生徒にとっての教育的文脈を豊かにするために、教室の内外において、学校コミュニティに関わる機会を大切にする。教師は、生徒の社会的、知的な発達において、学校と家とコミュニティの間の望ましい連携を理解している。

(2) 教師の専門性の国家基準

7つの基準は、3つの教授の側面のなかで教師が何を期待されるのかを明らかにする。基準と基準の記述に関して教師がその能力を示すのは、専門家としてのそれぞれのステージにおける特定の教授の文脈内においてであり、また教えている生徒の学習要求を反映したものとなるだろう。

- 基準 1 生徒を知り、生徒がいかに学ぶかを知る
- 基準 2 内容を知り、それをいかに教えるかを知る
- 基準 3 効果的な教授と学習を計画し実施する
- 基準 4 支援的で安全な学習環境を作り、維持する
- 基準 5 生徒の学習を評価し、フィードバックを与え、報告する
- 基準 6 専門的学習へ関与する
- 基準 7 同僚、保護者、コミュニティに専門職として関わる

①焦点領域と基準の記述

焦点領域と基準の記述は、それぞれのキャリア段階における教授の質の中身を明らかにする。それは複雑な教授のプロセスのなかの合意された特徴から構成される。効果的な教師は、学習が価値あるものになるような教授環境を作るために、基準の記述に概要が示されている、知識、技術、専門的関与を統合し、適用することができる。

②4つのキャリア段階における専門的な能力

基準の4つのキャリア段階は、教師のキャリアを通じての教師の専門的成長を認識するための水準点を提供する。4つのキャリア段階にまたがる基準の記述は、教師の知識、実践、専門的関与のレベルが高まっていくことを示している。段階を通しての進歩は、より広く、より複雑になる状況においても、洗練さを増して適用される、理解の高まりとして記述される。

③新卒の教師

新卒の教師は、国家的に認定された最初の教師教育のプログラムの必要要件にあった、資格を満たしたところである。この資格の授与は、彼らが「新卒の基準」を満たしたことを意味する。

最初の教師教育を成功裏に修めていれば、新卒の教師は、生徒の学習プログラムを計画し、実施するために必要とされる知識と技術を持っている。彼らは、生徒の身体的、文化的、社会的、言語的、知的な特質が、学習に及ぼす含意について、知識と理解を示す。すべての能力幅にまたがった生徒の、特定の学習ニーズを満たすために、教授を分化させるための戦略と、包括の原則について理解している。

新卒の教師は、教科とカリキュラムの内容と教授戦略についての理解をもちあわせている。彼らはカリキュラム、成績評価、報告の必要要件にあわせて授業をデザインすることができる。彼らは、生徒の学習を評価し、教授実践を修正するために、生徒の成績評価データを翻訳する能力を示す。彼らは、生徒の学習を向上させるために、タイムリーで適切なフィードバックの形を選び、適応する方法を知っている。

新卒の教師は、生徒とよい関係を築き、生徒の態度をコントロールするための知識と実践的な戦略についての知識を示す。彼らは学校や組織において、カリキュラムや立法上の必要要件のなかで働きながら、生徒の福利と安全をいかに支援するかについて知っている。

彼らは、倫理的に働き、同僚、外部の専門家、コミュニティの代表者とともに協力し、学校生活に貢献することの重要性を理解している。教師は、保護者と効果的に、きめ細や

かに、自信をもって関わるための戦略について理解し、子どもの教育における自分の役割を認識している。

④熟練の教師

熟練の教師は、このレベルの規準の記述をすべて達成していることを示すことで、完全なる登録と認定のための必要要件を満たす。

これらの教師は、生徒に効果的な教授と学習の経験を作り出す。彼らは生徒の特有の背景について知り、生徒の個人的ニーズと、多様な文化的、社会的、言語的特徴にあうように、教授を調整する。すべての生徒が参加を奨励されるような、安全で、積極的で、生産的な学習環境を発展させる。

彼らは、カリキュラム、成績評価、報告の必要要件を満たす、関与を引き付ける教授プログラムをデザインし、実施する。彼らは生徒の知識と理解を分析し、支援するためにフィードバックと成績評価を用いる。熟練の教師は、自分の教授を評価し、より生徒のニーズを満たすように自分のプログラムを調節するために、生徒の結果を含めたさまざまな情報源を用いる。

熟練の教師は、自らの職業における活動的な参加者であり、同僚からのアドバイスを受け、自分自身の専門的学習のニーズを特定し、計画をたて、評価する。

熟練の教師は、チームのメンバーである。彼らは同僚と協力して働き、教育実践に影響を与える教育的論点についてのアドバイスを求め、それを取り入れる。彼らは生徒、同僚、保護者、コミュニティのメンバーと効果的にコミュニケーションする。彼らはすべての場面において、専門家として、倫理的にふるまう。

⑤高度完成の教師

高度完成の教師は、非常に効果的で、力のある教室での実践家であり、自分自身の実践と、同僚の実践を改善するために、自律して、協力して、絶えず働くことができる。彼らは学校において知識豊かで活動的なメンバーである。

高度完成の教師は、同僚の学習に貢献する。彼らはまた、他の者を導き、アドバイスをし、リードする役割も担うだろう。彼らは生徒の教育的成果を改善するために、効果的な教授について議論することを定期的に計画し、関与する。

彼らは、生徒のバックグラウンドと個人的な性格を知り、これらの要因が学習に与える影響を理解することにより、生徒の学習の機会を最大化する。彼らは、積極的で生産的な学習環境を作るために、養成中の教師を含む同僚に、支援と戦略を提供する。

高度完成の教師は、自分の責任の範囲内における教科とカリキュラムの内容についての深い知識を持つ。彼らは教授領域において適切な教授実践を行う。彼らは生徒の学習を改善するために教授プログラムを計画し、評価し、修正するために同僚とともに働く。彼らは専門とする内容領域や、ジェネラリスト教師として知っておくべき内容領域の、最新の情報に遅れずについていく。

高度完成の教師は、生徒の成績評価データを分析するのに長けており、教授と学習を改善するためにそれを用いる。

彼らは、同僚が専門的な学習と実践の機会を最大化する環境を整えることを率先して行

う。彼らは自分自身の専門的学習のニーズをモニターし、それと生徒の学習ニーズとを結びつける。

彼らは、常に倫理的にふるまう。彼らの人間関係的で意見表明的スキルは非常に発達している。彼らは、生徒、同僚、保護者、コミュニティのメンバーと効果的に、敬意をもってコミュニケーションする。

⑥リーダーの教師

リーダーの教師は、同僚、保護者、コミュニティから模範的な教師であると認識され、尊敬されている。彼らはこれまでずっと一貫した革新的な教授実践を行ってきた。学校の内外において、すべての生徒の教育機会の改善に焦点をあてた活動を計画し、それを導く。彼らは、異なった言語的、文化的、宗教的、社会経済的バックグラウンドをもつ生徒のニーズにあった包括的な学習環境を作る。彼らは自分の実践を改善しようとし、自分の経験を同僚と共有する。

彼らは、知識、実践、他者と専門的に関わることを向上させる活動を用いて、教師と養成中の教師に助言を与えることに長けている。彼らは、同僚の間に創造的で革新的な考えをゆき渡らせる。彼らは効果的な授業と学習の機会を提供するために、技術と深い知識と理解を用い、この情報を同僚や養成中の教師と共有する。彼らは同僚に、自身の専門的実践を改善することを奮起させるような方法で、非常に効果的な教授と学習とのあいだにある関係を描き出す。

彼らは、プログラムを評価し改訂し、生徒の成績評価データを分析し、保護者からのフィードバックも考慮に入れることによって、生徒の成績を改善するためのプロセスを導く。それは効果的な教授と学習に関する最近の調査の知見をも含み込んでいる。

彼らは、コミュニティにおいて学校と教授するという職業を代表する。彼らは、学校内外において、専門的で、倫理的で、尊敬される個人である。

⑦結論

教職の専門性の国家基準を定めることは、オーストラリアの学校の質の高い学習と教授を保証するために必要不可欠のものである。これを発展させ実践することで、オーストラリアの教育システムは世界における最善のもののひとつに位置づけられるだろう。

これらの基準は、オーストラリアで先行して行われてきた重要な仕事のうえに築かれた。これらは、「教師の質の向上に関する国家的パートナーシップ」において合意された改革の根本的な内容のひとつであり、メルボルン宣言で定められた目標と関与を実現するのに役立つであろう。

基準1 生徒を知り、生徒がいかに学ぶかを知る

焦点	新卒	熟練	高度完成	リーダー
生徒の身体的・社会的・知的な発達と特質	1.1.1 生徒の身体的・社会的・知的な発達と特質と、それらがどのように学習に影響を与えるかについての知識と理解を示す。	1.1.2 生徒の学習を改善するため、生徒の身体的・社会的・知的な発達と特質に関する知識に基づき、教授戦略を用いる。	1.1.3 生徒の身体的・社会的・知的な発達と特質に見合うように、教授戦略の柔軟で効果的なレパートリーのなかから選ぶ。	1.1.4 生徒の身体的・社会的・知的な発達と特質に関する知識を用いて、生徒の学習を改善するために、同僚が教授戦略を選択し、発展できるように導く。
生徒がいかに学ぶかの理解	1.2.1 生徒がいかに学ぶかについての調査と、その教授への合意についての知識と理解を示す。	1.2.2 生徒がいかに学ぶかについての調査と同僚からの助言を用いて、教授プログラムを組み立てる。	1.2.3 調査や職場の知識を用いて、生徒がいかに学ぶかについての理解を広げる。	1.2.4 生徒がいかに学ぶかについての調査や職場の知識を用いて、教授プログラムの有効性を評価するプロセスを導く。
多様な言語的・文化的・宗教的・社会経済的なバックグラウンドをもつ生徒	1.3.1 多様な言語的・文化的・宗教的・社会経済的なバックグラウンドをもつ生徒の、学習における強みとニーズに呼応した教授戦略についての知識を示す。	1.3.2 多様な言語的・文化的・宗教的・社会経済的なバックグラウンドをもつ生徒の、学習における強みとニーズに呼応した教授戦略を計画し、実施する。	1.3.3 多様な言語的・文化的・宗教的・社会経済的なバックグラウンドをもつ生徒の、学習における強みとニーズに向けた効果的な教授戦略を、同僚が発展させるのを助ける。	1.3.4 多様な言語的・文化的・宗教的・社会経済的なバックグラウンドをもつ生徒のニーズに合うように、専門家やコミュニティの知識と経験を用いて、学校の学習と教授のプログラムを評価し、改定する。
アボリジニとトレス海峡島嶼民の生徒を教える戦略	1.4.1 アボリジニとトレス海峡島嶼民のバックグラウンドをもつ生徒の教育において、文化や文化的アイデンティティ、言語的バックグラウンドが与える影響についての広い知識と理解を示す。	1.4.2 アボリジニとトレス海峡島嶼民の生徒の地域コミュニティと文化的状況、言語的バックグラウンドと歴史に呼応した、効果的な教授戦略を作り、実施する。	1.4.3 コミュニティの代表者からの知識と支援を用いながら、アボリジニとトレス海峡島嶼民の生徒への効果的な教授戦略を同僚が実施するのに対し、助言と支援を与える。	1.4.4 コミュニティの代表者や保護者と協力的な関係を作ることにより、アボリジニとトレス海峡島嶼民の生徒の、公正で進行中の参加を支援する教授プログラムを発展させる。
全ての能力幅にまたがる生徒の、特定の学習ニーズに合うように教授を分化させる	1.5.1 全ての能力幅にまたがる生徒の、特定の学習ニーズに合うように、教授を分化させるための戦略についての知識と理解を示す。	1.5.2 全ての能力幅にまたがる生徒の、特定の学習ニーズに合うように分化させた戦略を組み合わせた教授活動を発展させる。	1.5.3 全ての能力幅にまたがる生徒の、特定の学習ニーズごとに分けられた、生徒の成績評価データを用いて、学習と教授のプログラムを評価する。	1.5.4 全ての能力幅にまたがる生徒の、特定の学習ニーズに合うように分化させた学習と教授のプログラムの、有効性を評価するために同僚を導く。
障害のある生徒の完全なる参加を支援するための戦略	1.6.1 障害のある生徒の参加と学習を支援するための立法上の必要要件と教授戦略に対する幅広い知識と理解を示す。	1.6.2 障害のある生徒の参加と学習を支援し、関連する政策と立法上の必要要件を満たす教授活動を計画し、実施する。	1.6.3 専門家の知識や関連する政策や法律を参照し、障害のある生徒の参加や学習を支援する教授プログラムを発展させるため、同僚とともに働く。	1.6.4 障害のある生徒の関与と完全なる参加を支援し、立法と組織の方針を遵守していることを確実にするために、学校方針の再吟味を始め、導く。

基準 2 内容を知り、それをいかに教えるかを知る

焦点	新卒	熟練	高度完成	リーダー
教授領域の内容と教授戦略	2.1.1 教授領域の内容と教授戦略に関する概念、概要、構造に対する知識と理解を示す。	2.1.2 関わっている教授活動を発展させるため、教授領域の内容と教授戦略に関する知識を適用する。	2.1.3 関わっている学習と教授のプログラムを発展させ、実施するために、内容と教授戦略に関する、現代的で総合的な知識を用い、同僚を支援する。	2.1.4 内容と教授戦略に関する知識を評価し、改善するために、学校内の主導権を握るとともに、効果的で、調査に基づいた、学習と教授のプログラムを用いながら、教科を教える模範を示す。
内容の選択と組織	2.2.1 内容を効果的な学習と教授の流れへと組織する。	2.2.2 内容を、一貫し、うまく配列された学習と教授のプログラムへと組織する。	2.2.3 内容の選択と組織において、またそれを学習と教授のプログラムへ落とし込むうえで、革新的な実践を見せる。	2.2.4 内容の選択と流れを、一貫した組織化された学習と教授のプログラムへと改善するために、総合的な内容の知識を生かした主導権を握る。
カリキュラムと成績評価と報告	2.3.1 学習の流れと授業計画を作るために、カリキュラム、成績評価、報告に関する知識を用いる。	2.3.2 カリキュラム、成績評価、報告の必要要件に関する知識を用いて、学習と教授のプログラムを作り、実施する。	2.3.3 カリキュラム、成績評価、報告の必要要件に関する現代的な知識や理解を用いて、同僚が学習と教授のプログラムを作り、実施するのを支援する。	2.3.4 カリキュラム、成績評価、報告の必要要件に関する総合的な知識を用いて、同僚が学習と教授のプログラムを発展させるのを支援する。
オーストラリアの先住民と非先住民との間の和解を促進するためにアボリジニとトレス海峡島嶼民を理解し尊敬する	2.4.1 アボリジニとトレス海峡島嶼民の歴史、文化、言語への幅広い知識、理解、敬意を示す。	2.4.2 アボリジニとトレス海峡島嶼民の歴史、文化、言語に対する理解と敬意をさらに進めることができるように生徒に機会を与える。	2.4.3 アボリジニとトレス海峡島嶼民の歴史、文化、言語に対する理解と敬意をさらに進めることができるように生徒に機会を与えることにおいて同僚を支援する。	2.4.4 アボリジニとトレス海峡島嶼民の歴史、文化、言語に対する理解と敬意をさらに進めることができるように生徒に機会を与えることにおいて同僚を支援するための主導権を握る。
読み書き計算の戦略	2.5.1 読み書き計算の教授戦略とそれらの教授領域への適用について知り、理解する。	2.5.2 生徒の読み書き計算の達成を支援するために、効果的な教授戦略についての知識と理解を実際に用いる。	2.5.3 生徒の読み書き計算の達成を改善するために効果的な教授戦略を同僚が用いるのを支援する。	2.5.4 調査に基づいた知識と生徒のデータを用いて、生徒の読み書き算数の成績が改善するように、学校内で教授戦略が用いられるのを監視し、評価する。
情報通信技術 ICT	2.6.1 生徒のカリキュラムの学習機会を広げるために ICT を用いた教授戦略を実施する。	2.6.2 選択された内容が関連のある、意味深いものになるように、ICT を学習と教授のプログラムのなかに組み入れるために、効果的な教授戦略を用いる。	2.6.3 高水準の教授の知識と技術を持つモデルとなり、教授実践を改善し、内容を関連のある、意味深いものにするために現代の ICT を用いるために、同僚とともに働く。	2.6.4 すべての生徒の学習機会と知識内容を広げるため、効果的な教授戦略とともに ICT を選び、用いるために、学校内で同僚を導き、援助する。

基準3 効果的な教授と学習を計画し実施する

焦点	新卒	熟練	高度完成	リーダー
挑戦的な学習目標を立てる	3.1.1 多様な能力や特徴をもつ生徒へ、達成可能な挑戦を与える学習目標を定める。	3.1.2 すべての生徒にとって明示的で挑戦的で達成可能な学習目標を定める。	3.1.3 挑戦的な学習目標を作り、設定することで、すべての生徒に高い期待を寄せる文化を作り出す。	3.1.4 実践と高い期待の模範を示すとともに、教育のあらゆる側面において生徒が挑戦的な目標を追求するのを同僚が奨励できるように導く。
学習プログラムの計画・構造・流れ	3.2.1 生徒の学習、内容、効果的な教授戦略についての知識を用いて授業の流れを作る。	3.2.2 生徒を引き込み、学習を促すようによく構造化された学習と、教授プログラムや授業の流れを計画し、実施する。	3.2.3 すべての生徒を引き込む生産的な学習環境を作るために、学習と教授のプログラムを計画し、評価し、修正するために同僚とともに働く。	3.2.4 模範的な実践を披露し、生徒の知識、理解、技術を伸ばすために、学習と教授のプログラムの有効性について同僚が計画し、実施し、反省するのを導く。
教授戦略を用いる	3.3.1 教授にさまざまな教授技術を含ませる。	3.3.2 知識、技術、問題解決、批判的で創造的な思考を伸ばすために、適切な教授戦略を選び、用いる。	3.3.3 知識、技術、問題解決、批判的で創造的な思考を伸ばすために、同僚が有効な教授戦略を選び、適用するのを支援する。	3.3.4 生徒が知識、技術、問題解決、批判的で創造的な思考を用いることができるように、教授戦略のレパートリーを反省し、修正し、広げるために同僚とともに働く。
リソースを選び、使う	3.4.1 生徒を学習へと引き付けるさまざまなリソース (ICT を含む) に対する知識を示す。	3.4.2 生徒を学習へと引き付けるさまざまなリソース (ICT を含む) を選び、作り、使う。	3.4.3 生徒を学習へと引き付ける幅広いリソース (ICT を含む) を同僚が作り、選び、使うのを支援する。	3.4.4 模範的な技術を作り上げ、学校内外で教師によって適用されるリソース (ICT を含む) を、同僚が選び、作り、評価するのを導く。
効果的な教室のコミュニケーションを用いる	3.5.1 生徒の関与を高めるために、さまざまな言語的・非言語的コミュニケーション戦略を示す。	3.5.2 生徒の理解、参加、関与、学業達成を高めるために、効果的な言語的・非言語的コミュニケーション戦略を用いる。	3.5.3 生徒の理解、関与、学業達成を高めるため、幅広い言語的・非言語的コミュニケーション戦略のなかから同僚が選択するのを支援する。	3.5.4 生徒の理解、関与、学業達成を高めるため、相互補完的な戦略と文脈上の知識を用いながら、言語的・非言語的コミュニケーションを統合した模範を示し、導く。
教授プログラムを評価し改善する	3.6.1 生徒の学習を改善するために、教授プログラムの評価に使われうる戦略についての幅広い知識を示す。	3.6.2 計画に生かすため、生徒からのフィードバックや生徒の成績評価データを含む証拠を用いながら個人的な教授と学習のプログラムを評価する。	3.6.3 生徒からのフィードバック、生徒の成績評価データ、カリキュラムの知識、職場の実践を用いながら現在の教授と学習のプログラムを再検討するために同僚とともに働く。	3.6.4 生徒の成績評価データ、カリキュラム文書、教授実践、保護者や生徒や同僚からのフィードバックを含む多様な証拠となるリソースを用いながら、教授と学習のプログラムを定期的に再検討する。
教育のプロセスに保護者を巻き込む	3.7.1 教育のプロセスに保護者を巻き込む幅広い戦略を描く。	3.7.2 保護者を子ども達の学習に巻き込むのに、適切で、文脈上も関わりのある機会を計画する。	3.7.3 保護者を子ども達の学習に巻き込むのに、適切で、文脈上も関わりのある機会を作るために同僚とともに働く。	3.7.4 保護者が子ども教育に、またはより広い学校の重要課題や活動に関与できるプログラムを作るため、文脈的にも関係のあるプロセスを導く。

基準4 支援的で安全な学習環境を作り、維持する

焦点	新卒	熟練	高度完成	リーダー
生徒の参加を支援する	4.1.1 教室の活動への包括的な生徒の参加と関与を促すため、戦略を決める。	4.1.2 教室の活動へすべての生徒を関与させ、支援するため、包括的で積極的な相互関係を作り、実践する。	4.1.3 効果的な実践を作り上げ、すべての生徒を関与させ、支援するための包括的な戦略を同僚が実施するのを助ける。	4.1.4 すべての生徒を関与させ、支援するために、包括的な戦略を再検討し、新しいアプローチを模索することで、学校中に生産的で包括的な学習環境を作りあげる事例を示し、導く。
学級の活動を運営する	4.2.1 教室の活動を組織し、明確な指示を出すことのできる能力を示す。	4.2.2 生徒の時間が学習課題の上で過ぎてゆく環境を作るため、秩序のある働きやすいルーティンを作り出し、維持する。	4.2.3 すべての生徒が意図ある活動に関与することを保証する、学級経営戦略の柔軟な戦略のレパートリーを作りあげ、同僚と共有する。	4.2.4 効果的な学級経営を行い、生徒の学習に対する責任感を高めるために、戦略を作り上げ、同僚を導く。
挑戦的な態度を作り出す	4.3.1 挑戦的な態度を作り出す実践的なアプローチについての知識を示す。	4.3.2 生徒とともに明確な目標について協議し、設定することにより、挑戦的な態度を作り出し、速やかに、公平に、礼儀正しく学問課題に向かう。	4.3.3 専門家の知識と職場の経験を用いて、態度形成戦略の柔軟なレパートリーを作り上げ、同僚と共有する。	4.3.4 同僚が戦略の幅を広げるのを助けるため、態度形成の主導権を取り、実施する。
生徒の安全の維持	4.4.1 学校、組織、カリキュラム、立法の必要要件内において、生徒の福利と安全な活動が守られる戦略を描く。	4.4.2 学校、組織、カリキュラム、立法の必要要件を満たすことにより、学校内での生徒の福利と安全を保障する。	4.4.3 生徒の福利と安全を保障するため、現在の学校、組織、カリキュラム、立法の必要要件を満たすことを主導し、責任を取る。	4.4.4 現在の学校、組織、カリキュラム、立法の必要要件を用いて、生徒の福利の方針と安全な活動実践の有効性を評価するとともに、同僚が実践を更新するのを手伝う。
安全に、確実に、倫理的に ICT を使う	4.5.1 学習と教授において、安全に、確実に、倫理的に ICT を用いることを支援するため、利用可能な戦略と、関連する課題についての理解を示す。	4.5.2 学習と教授において、安全に、確実に、倫理的に ICT を用いることを促すための戦略を具体化する。	4.5.3 学習と教授において、安全に、確実に、倫理的に ICT を用いることを促すために、戦略を発展させるためのモデルとなり、同僚を支援する。	4.5.4 学習と教授において、安全に、確実に、倫理的に ICT を用いることを保証するために、新しい方針と戦略を再検討し、実施する。

基準5 生徒の学習を評価し、フィードバックを与え、報告する

焦点	新卒	熟練	高度完成	リーダー
生徒の学習を評価する	5.1.1 生徒の学習を評価するために、非公式的、公式的、診断的、生成的、要約的アプローチを含む、成績評価戦略についての理解を示す。	5.1.2 生徒の学習を評価するために、非公式的、公式的、診断的、生成的、要約的な評価戦略を發展させ、選び、用いる。	5.1.3 学習のニーズを診断し、カリキュラムの必要要件を遵守し、同僚が成績評価のアプローチの有効性を評価するのを手伝うために、総合的なさまざまな評価戦略を發展させ、適用する。	5.1.4 同僚が、学習ニーズを診断するために成績評価データを用い、カリキュラム、組織、学校の成績評価の必要要件を遵守し、さまざまな成績評価戦略を用いるのを支援するために、学校の成績評価の方針と戦略を評価する。
学習について生徒にフィードバックを与える	5.2.1 学習について生徒にタイムリーで適切なフィードバックを与える目的について理解を示す。	5.2.2 学習目標と関連した学業達成について、タイムリーで、効果的で、適切なフィードバックを生徒に与える。	5.2.3 学習を進歩させるため、それぞれの生徒の現在のニーズに対する情報豊かでタイムリーな判断に基づいて、焦点化されたフィードバックを提供するために、効果的なさまざまな戦略のなかから選ぶ。	5.2.4 模範的な実践を作り上げ、タイムリーで効果的で適切なさまざまなフィードバック戦略を同僚が適用するのを支援するためのプログラムを主導する。
一貫した、比較可能な判断を下す	5.3.1 評価の調整に理解を示し、また、生徒の学習に一貫した比較可能な判断をするためにそれを適応することへの理解を示す。	5.3.2 生徒の学習に一貫した比較可能な判断をするために、評価の調整活動について理解し、参加する。	5.3.3 生徒の学習に一貫した比較可能な判断をするために、評価の調整活動を組織する。	5.3.4 生徒の学習に対する一貫した比較可能な判断が、カリキュラム、学校、組織の必要要件を満たすことを保証するために、調整活動を主導し、評価する。
生徒のデータを翻訳する	5.4.1 生徒の学習を評価し、教授実践を修正するために、生徒の成績評価データを翻訳する能力を示す。	5.4.2 生徒の教科や内容の理解を分析・評価し、障害となっているものを特定し、教授実践を修正するために、生徒の成績評価データを用いる。	5.4.3 学習と教授を評価し、障害となるものを特定し、教授実践を修正するために、学校内外の生徒の成績評価データを用いて同僚とともに働く。	5.4.4 教授実践を改善するために、学校内外の生徒の成績評価データを用いて、生徒の業績とプログラムの評価とを調和させる。
生徒の学業成績を報告する	5.5.1 生徒と保護者に報告するためのさまざまな戦略と、生徒の学業達成の、正確で信頼できる記録をつけ続ける目的について、理解を示す。	5.5.2 正確で信頼できる記録を用いて、生徒の学業達成について生徒と保護者へ、明瞭に、正確に、敬意をもって報告する。	5.5.3 生徒の学習と学業達成について、生徒と保護者に、正確で、情報豊で、タイムリーな報告をするために同僚とともに働く。	5.5.4 生徒、保護者、同僚のニーズを満たすため、学校内の報告とアカウントビリティのメカニズムを評価し、改訂する。

基準6 専門的学習へ関与する

焦点	新卒	熟練	高度完成	リーダー
専門的学習のニーズを特定し、計画する	6.1.1 専門的学習のニーズを特定するうえで「教職の専門性の国家基準」の役割に対する理解を示す。	6.1.2 専門的学習のニーズを特定し、計画を練るうえで、「教職の専門性の国家基準」と同僚からのアドバイスをを用いる。	6.1.3 個人的な専門的発達目標を掲げるため「教職の専門性の国家基準」を分析し、同僚が個人的な発達目標を定め、達成するのを、また養成中の教師が教室での実践を改善するのを助ける。	6.1.4 同僚と養成中の教師の専門的学習のニーズに合った、専門的学習の方針やプログラムを発展させることを計画し、主導するため、「教職の専門性の国家基準」の総合的な知識を用いる。
専門的学習に関与し、実践を改善する	6.2.1 教師の専門的学習に関連のある適切な情報源について理解する。	6.2.2 専門的なニーズと学校や組織の重要課題に焦点を絞り、知識と実践を更新するために学習に参加する。	6.2.3 関連する調査に接し、批判的検討をすることで専門的学習のための計画をし、実践を改善するために焦点づけられた高品質の機会に参加し、可能であれば養成中の教師に上質な職場を提供する。	6.2.4 専門的学習の機会を広げるため、協力的な関係性を作り、調査に与し、養成中の教師に上質な機会と職場を提供する。
同僚とともに取り組み、実践を改善する	6.3.1 教授実践の改善のために指導者や教師からの建設的なフィードバックを求め、適用する。	6.3.2 同僚との議論に貢献し、専門的な知識と実践を改善するために、同僚からの建設的なフィードバックを適用する。	6.3.3 専門的な知識と実践を改善し、生徒の教育的成果の向上を目指した実践を評価するために、さまざまなフォーラムにおいて同僚と専門的な議論を自主的に始め、取り組む。	6.3.4 フィードバックにより情報をえて、学校や専門的学習のネットワークにおいて、専門的な対話を行うとともに、生徒の教育的成果を改善するため、現在の調査や実践を分析する。
専門的学習を行い、生徒の学習を改善する	6.4.1 継続的な専門的学習の合理性と、その改善した生徒の学習への含意についての理解を示す。	6.4.2 特定された生徒の学習ニーズに向けて設計された専門的学習プログラムに参加する。	6.4.3 生徒の学習ニーズに向けた教師の専門的学習活動の有効性を評価するために同僚とともに取り組む。	6.4.4 生徒の学習を改善することに焦点をあてた同僚の高品質な専門的学習機会を支援するために、戦略を作り出し、参加し、主導する。

基準7 同僚、保護者、コミュニティに専門職として関わる

焦点	新卒	熟練	高度完成	リーダー
専門的な倫理と責任を知る	7.1.1 教授の専門家のための倫理と行動の規則として記述された、主要原則を理解し、適用する。	7.1.2 管轄する当局、組織、学校により作られた倫理と行動の規則を守る。	7.1.3 高い倫理的基準を維持し、同僚が倫理の規則を理解し、学校や地域のすべての文脈において正しい判断をするよう支援する。	7.1.4 倫理的な振る舞いの模範を示し、生徒、同僚、コミュニティと専門家として関わるすべてのことに、情報が与えられた判断を下す。
立法上、管理上、組織上の必要要件を遵守する	7.2.1 関連する立法上、管理上、組織上の方針と、学校段階により教師に求められる手順について理解する。	7.2.2 関連する立法上、管理上、組織上、職業上の必要要件と方針と手順のもつ意味と、その遵守について理解する。	7.2.3 同僚が立法上、管理上、組織上の要件と方針と手順について再検討し、翻訳するのを支援する。	7.2.4 現在と新しい立法上、行政上、組織上、職業上の責任について、同僚が理解し、遵守するように支援するために、関連する方針や手順を作り、発展させ、実施する。
保護者と関わる	7.3.1 効果的に、きめ細やかに、自信をもって保護者とともに働くための戦略を理解する。	7.3.2 子どもの学習と福利の観点から、保護者と敬意に満ちた協力的関係を作り、維持する。	7.3.3 子どもの学習と福利に関する保護者とのすべてのコミュニケーションにおいて即答性を示す。	7.3.4 子どもの学習の進歩と学校における教育的優先課題の両方において、保護者が関与する機会を見出し、主導し、作り上げる。
専門的教授のネットワークとより広いコミュニティに与する	7.4.1 教師の専門的な知識と実践を広げるために外部の専門家や地域の代表者のもつ役割を理解する。	7.4.2 知識を広げ、実践を改善させるため、専門的で地域的なネットワークやフォーラムに参加する。	7.4.3 教授と学習の向上のために、専門的なネットワークや協会に貢献し、より広いコミュニティと生産的な繋がりを作る。	7.4.4 専門的で地域的なネットワークにおいてリーダーシップ役割を担い、外部の学習機会に同僚が参加するのを支援する。

(基準の翻訳上の注記)

(1) スペース省略のため、なるべくカタカナ表記を避けた。

teaching 教授, teaching strategies 教授戦略, teaching area 教授領域

learnig 学習, support 支援する・助ける, advice 助言(する), supervisor 指導者

assessment 成績評価 (evaluate 評価と区別するため), achievement 学業達成

literacy and numeracy 読み書き計算, reporting 報告, policy 方針・政策

well-being 福利, parents/carers 保護者

improve 改善する, development 発展させる, implement 実施する

responsive 呼応した, review 再検討する

*ただし、以下はカタカナ表記とする。

program プログラム (plan 計画と区別するため), needs ニーズ, resource リソース,

community コミュニティ, background バックグラウンド

* professional をほとんど全て「専門的」と訳出したが、この語は辞書に職業的・専門的と記されているように、ここでは「専門性を持つこの職業の」と訳すと分かりやすい場合が多かった。

おわりに

以上がオーストラリアの「教師の専門性の国家基準」の翻訳である。オーストラリアの各州および直轄区は、すでに独自の「教師の専門性の規準」を持っており、順次、この全国統一の国家基準に切り替えていく予定となっている。そして筆者が継続的に調査を行っているニューサウスウェールズ州（NSW 州）では、2012年10月1日以降に教師に正式に認定されるものから、この新しい基準の「熟練レベル」を満たしていることが求められることになった。実際にこの基準が教員養成において、また現職教育において、どのように運用されていくのか、また教師の管理職への昇任や、資格証明書の発行、それが給料体系に与える仕組みなどと連動していくのかについても、注意深く経緯を見守り、今後も報告していきたい。

注

- 1) アメリカの事例：北田佳子「アメリカにおける教職専門性スタンダードの展開：NBPTS, INTASC, NCATE の連携に着目して」『埼玉大学教育学部附属教育実践センター紀要』7号, 2008年, 63-74頁。イギリスの事例：山崎洋子「教師の専門性」／「教職実践」素描—教育における「理論・実践」問題の地平—『武庫川女子大学大学院 教育学研究論集』第6号, 2011年, 1-20頁。ドイツの事例：原田信之・牛田信一「ドイツにおける教員養成スタンダード：学部教育～現職教育における教職専門資質の基準」『岐阜大学 教師教育研究』2号, 2006年, 91-98頁。ドイツの事例：別惣淳二「教員養成スタンダード導入の国際的動向」渡辺満・カール・ノイマン編著『日本とドイツの教師教育改革—未来のための教員をどう育てるか—』東信堂, 215-244頁。オーストラリアの事例：本柳とみ子「オーストラリアの教師教育における教員養成スタンダードの機能とその意義」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』別冊（13-2）, 2005年, 205-215頁。本柳とみ子「多文化社会で求められる教師の資質・能力：オーストラリアの「教職専門性スタンダード」を手がかりとして」『神奈川県立国際言語文化アカデミア紀要』2号, 2013年, 75-86頁。
- 2) 「教師の専門性の全国基準 National Professional Standards for Teachers」の全文は以下のサイトで入手可能である。（2013年9月15日接続確認）。
http://www.aitsl.edu.au/verve/_resources/AITSL_National_Professional_Standards_for_Teachers.pdf